

授業科目名 <英訳>	偏見・差別・人権 Prejudice, Discrimination, and Human Rights		担当者所属 職名・氏名	国際高等教育院 特定教授 林 信夫 非常勤講師 豊福 誠二 非常勤講師 井岡 康時 東南アジア地域研究研究所 教授 速水 洋子 人間・環境学研究所 教授 林 達也 学生総合支援センター 准教授 村田 淳 人文科学研究所 教授 竹沢 泰子			
群	人文・社会科学科目群	分野(分類)	教育・心理・社会(各論)		使用言語	日本語	
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義
開講年度・ 開講期	2018・後期	曜時限	月5	配当学年	全回生	対象学生	全学向
【授業の概要・目的】							
人間社会における偏見と差別に関わる諸問題を人権の観点から学問的に解明し、教授することは、大学として果たすべき重要な基本課題であるとの認識に立ち、本学学生に人権問題に関する概論を教授するため、全学共通科目「偏見・差別・人権」を開講する。							
【到達目標】							
講義を通じて社会における偏見と差別についての認識を深めると同時に、人権問題を自ら考える機会とする。							
【授業計画と内容】							
以下の5つのテーマを取り上げ、それぞれのテーマに関する講義を行う。							
<p>現代社会における人権の問題(10/1、10/15) 担当：国際高等教育院 非常勤講師 豊福 誠二 本講座では、まず、弁護士である講師が「人権とは何であるか」について概説をする。その上で、近時みられる「ヘイト・スピーチ」の現状を紹介し、なぜこのような現象が発生するのか、どのような被害があるのか、法的規制はどうあるべきかについて考える。</p> <p>被差別部落に関する問題(10/22、10/29、11/5) 担当：国際高等教育院 非常勤講師 井岡 康時 自由・平等の理念や合理主義などを基調とする近現代の社会が、なぜ古い時代に淵源をもつと考えられる差別を克服できないのか。さまざまな資料を検討しながら、可能な限り差別意識の深奥にせまり、課題解決の道程を探っていききたい。</p> <p>ジェンダーに関する問題(11/12、11/19、11/28) 担当：東南アジア地域研究研究所 教授 速水 洋子 日本社会は性差別から自由なのだろうか？また、性差別は世界に普遍的に存在するのだろうか？まことに性差別から自由になるとは、どういうことなのか、身近な事例から、世界の事例まで挙げ、討論を通して考えていききたい。</p> <p>障害（disability）に関する問題(12/3、12/10、12/17) 担当：人間・環境学研究所 教授 林 達也、学生総合支援センター 准教授 村田 淳 障害者の尊厳や自律（自立）の尊重、無差別、社会への完全な参加などについて定めた「障害者権利条約（国連）」を背景に、平成28年4月には障害者差別解消法が施行されるなど障害者に関する問題は変革期を迎えている。本講座では、現代における障害とは何か、合理的配慮とは何かを探る機会としたい。</p> <p>外国人に関する問題(1/7、1/15、1/21) 担当：人文科学研究所 教授 竹沢 泰子 京都にも数多く住んでいる在日コリアン。彼らはどのような経緯で日本社会に住むに至ったのか、 偏見・差別・人権(2)へ続く</p>							

偏見・差別・人権(2)

帰化するか否かの選択の背景に何があるのか、ジェンダーによる違いは何か、現在、差別はどのような形で再生産されているのか、こうした問題を考える。さらに「偏見」とはそもそも何なのか、「偏見」や「差別」をなくすにはどうすればよいのか、ともに考えたい。

コーディネーター：未定

【履修要件】

特になし

【成績評価の方法・観点及び達成度】

毎回の小レポートと定期試験で成績評価を行う（小レポート40点、定期試験60点）。
なお、8回以上の出席を定期試験の受験資格とする。

【教科書】

使用しない

【授業外学習（予習・復習）等】

講義内容の復習を行うこと。

【その他（オフィスアワー等）】